

笑顔

西小学校六年

米田 諒聖

ぼくには、九十才のひいおばあちゃんがい
ます。ひいおばあちゃんは、ぼくの好きなだ
んごの作り方を教えこくれたり、映像では分
かりにくい戦争の話しをしたりして、今まで
生きこきたことの経験を話しこくれてとても
分かりやすいです。おぼんの頃、ひいおばあ
ちゃんの家に行くと、笑顔で向きこくれまし

た。そのときには、だんごをつくったり、対
馬の郷土料理のろくべえをつくったりしてい
ました。おぼんなのど、ぶつだんの仏様に、
手を合わせておまいりしました。ひいおばあ
ちゃんは、

「冷蔵庫の中にシユースが入ってるよ。
といつもシユースをくれます。ひいおばあ
ちゃんの笑顔でぼくも、家族も笑顔になります。
ひいおばあちゃんに、まだまだ長生きして
もらって、色々なことをしゃべったりしたい

です。ひいおばあちゃん人は、ぼくが帰る時、

「またいぢぢもこねえ。」

「こいっ、こくれます。ぼくも、

「また遊びにくるねえ。」

と必ず叫びます。帰る時はさみしいけれど、

ひいおばあちゃん人は、笑顔で送ってくれます。

ぼくもひいおばあちゃんみたりに、いつ

も、笑顔でいたいと思えます。そして、あわ

りのみ人なも、笑顔になつて、み人ながしあ

わせになつたらいいなあと思えます。そして

色々なことを教えていただきます。